

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）
フォローアップ報告書（令和6年度）

課 題	B：分断社会の超克
研究テーマ名	身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現
研究代表者	床呂 郁哉
所属機関・部局・職	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授
フォローアップ所見	
<ul style="list-style-type: none">・初年度は、3つのクラスタでの立ち上げ作業のほか、中心となる統括組織の立ち上げ、若手人材の雇用などをプロジェクトとして行っており、アクティビティとしては十分であると判断した。・その一方で、提出された報告書を読んだだけでは、個々のイベントが全体の研究計画や目標にどう結びついているのか、得られた成果はなんであったのかなど分かりにくい点もあった。実地調査での質疑応答により、イベント内容と本研究の関連などは理解できた。今後、個々のイベントが研究計画全体の中でどういう位置にあるのか、基礎的研究とどう結びつくのかを外部にわかりやすく示す努力をしつつ、進めていただきたい。・本事業の目的に照らせば、研究期間が終了した段階では、「こういうことが分かった」という学問的な成果を発表するだけでなく、それが社会的分断の超克に繋がる可能性を示せることが期待されている。各研究者の基礎研究を推進させることは言うまでもないが、プロジェクト全体として分断社会の変革に向けて有益な実践的な成果や施策の提案を目指していただきたい。・予算配分や用途なども研究プロジェクトチーム全体でチェックできるような仕組みがあることが望ましいので、考慮していただきたい。	